



若冲をテーマにしたアートイベントで錦市場を盛り上げる

デザイン・建築学系中野仁人教授研究室・阪田弘一准教授研究室

活動場所

京都市中京区

活動目的・背景

伊藤若冲が錦市場出身であることを、地元住民でさえも十分に知らないという状況でしたが、若冲をテーマにしたアートイベントを毎年秋に開催し、錦市場をアピールすることで、集客だけではなく地元住民の意識を高めることも目的の一つとしています。

取組概要

中野研究室では、若冲の絵をもとにしたタペストリーを学生が描き、アーケード上部に十数メートルに及ぶインスタレーションを制作・設置しています。阪田研究室では、期間中に空き店舗を特設ブースとして改装し、中野研究室の学生がお店一軒一軒と相談しながら作成したオリジナルグッズ（てぬぐいなど）を販売しています。

成果・今後の課題

2016年は若冲生誕300年にあたり、「若冲を知る」イベントを企画しています。空き店舗にブースを構えて、若冲の世界を気軽に楽しく知っていただけるようなパネル展示などを行います。にぎわいをつくり出すだけでなく、文化的価値を高めるように工夫しています。



本取組に関する

産学・地域連携課

お問合せ先

TEL : 075-724-7107

E-Mail: chiiki@jim.kit.ac.jp

関連 Web サイト

<http://www.coc.jp/report/1097/>

<http://www.coc.jp/report/613/>